

側は今盛んに燃えている。熱気の中
考える時間が無い。決断を急ぐ。

私は「背の高い順に並べ」と言っ
て鉄路に整列させ背の高いグルーブ
を両端に配置。背の低い方に回った
背の高いグルーブに対し「君たちが
全員の先導を行え。君たちが急ぎ過
ぎると後がついて行けない。あまり
速度を上げず後の人が付いて来れる
速度で常盤橋に向かえ。倒れる者が
出ても引き返すな。服に火が付いて
も慌てるな。常盤橋の下は水が流れ
ている。服に火が付いたら常盤橋よ
り川に飛び込め。倒れた者は俺たち
が連れて行く。外の人は先導した人
の通った所を通れ。出発」
号令一下。ここより常盤橋まで約
三百メートル。猛烈な火炎の中へ急
ぎ足で整然と突入。一人の落伍（ら
くご）者も無く全員常盤の橋上へ。

常盤橋の欄干南側は橋上に並んで倒
れ、北側の欄干は川の中に並んで落
ちている。これで爆心の方向が推定
出来る。爆心地は福屋・紙屋町方向。
橋上には先に避難してきた人が三
十人程立っている。時計を見る。丁
度正午。原爆被爆より三時間四十五
分後の事である。

牛田には未だ火が回っていない
が、白島全域・栄橋方向大須賀全域
と栄橋の向側の広島駅前猿猴橋周辺
が炎上中。

被害の状況を総合すれば、広島駅
より市電のコースで荒神・稻荷・八
丁堀・紙屋町・佐官町・十日市・土
橋・天満町・福島以北で火炎に包ま
れていないのは、三滝周辺・大芝周
辺と牛田である。（牛田はこの後炎
上）南東と南部は確認出来ないが被
害は市内全域に及ぶと推定できた。

建物疎開の生徒たちは元安川と本
川の間で作業しているはずであ
る。避難者に聞いた被爆の位置より
推定すると、かなり重大な被害を受
けたであろう。気に掛かってしよ
うがない。

橋下の川州は丁度干潮で川州が大
きく三百人程度の避難者がいたが全
員かなりの重傷で約半数の人は死ん
でいる様である。衣服はあまり傷ん
でいない。突如浅野の泉邸（縮景園）
で大爆発発生。破片は橋上に落下す
る。破片は大きな音を立てて落ちて
くる。ここも非常に危険だ。常盤橋の
両岸の家屋は盛んに炎上中。安全地
帯と選んでいた饒津神社境内まで後
百メートル、山陽線のガード下まで
五十メートル。炎上中の南側の大き
な旅館が道路を塞ぎ炎上している。
橋の東南側にある川に降りる石段